

かけはし



2024. 2. 28

すべての子どもが、
「おはよう」から「さようなら」まで、
安心して学べる比奈知小学校に

ふしめ い 節目を生かす

この度は、予告なしで避難訓練を業間に行いました。普段より、地震発生時に自らの命を守るためにはどうすればよいかを考え行動する力を育てていきたいと思ひます。



早いもので、卒業・修了の月を迎えます。この一年間の活動を通して、心身ともにたくましさ溢れる姿が多くみられることは、保護者・地域の皆様との共有の成果でもあります。心より感謝申し上げます。

日本を代表する竹は、雪の重みや強い風雨にも耐え、他の木々にはない、たくさんの節目をもって空に向かって真っすぐに成長します。わずかな風を竹全体で受け止めるしなやかさとともに、何百キロにも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さをもっています。そのたくましさの秘密は、軽さと強さを併せ持つ規則正しい間隔の節目にあるとされます。そのような力をもつ竹は、種から発芽するまでに4年以上もかかり、その間に地下で一年間に7~8メートルもの根を張って、地上の竹を支える準備をすると言われます。やがて芽を出した竹は、節目ごとに成長点をもつことで、一日に80~100センチメートル成長し、2か月弱で20メートルにもなります。竹の目に見える成長の姿とともに、目には見えない支える力のバランスは、私たち人間の生き方に大きなヒントを与えてくれます。

節をつくり、外からの多くの力をしなやかに、力強く受け止め成長する姿は、子どもたちが目標に向かって頑張ろうと一生けん命に取り組む姿と重なります。まっすぐな心をもって、たくましく育ててほしいと願うのは、誰もが望む子どもの姿です。しかし、現実には、人間関係をはじめさまざまな困難が次々と降りかかることが多いです。それだけに、それぞれの成長の節目においてめあてをもって進み、振り返ることが大切だと考えます。その積み重ねが、しなやかと力強さのもととなる節を築き、これから出会うさまざまな困難に打ち勝つ知恵や力の源となることでしょう



世代間交流

ろくそうかいむ
六送会に向けて
がんば
頑張っています。
かんしゃ きも
感謝の気持ちを
こ
込めて・・・



運営委員会児童12名が、2月5日(月)に、民生委員の方と「比奈知小・地域のいいところ」「地域の方にしてもらいたいこと」「学校・地域で、自分たちがこれからしていくこと」をテーマに、グループに分かれて委員の方々と懇談の場をもちました。【世代間交流】
今後、自分たちの住む地域を、子どもたちが好きになり、学校や地域のよさを子どもたち自身が発信することをめざして取り組んでいきたいと思ひます。



ろくねんせい おく かい 六年生 を送る会

あす がつ にち
(明日2月29日)

今年度は、体育館を発表会場として、一堂に会して行います。そして、発表する学年が順番に、お世話になった六年生に感謝の気持ちをこめて発表します。また、私たちもこんなに成長したという自信あふれる姿 も一緒に見せてくれるのではないかと、明日を楽しみにしています。

「六年生を送る会」は、在校生は、卒業を前にした六年生に対して感謝の気持ちを伝えるとともに、六年生を温かく送ろうという気持ちをもつこと、六年生は、小学校生活を振り返ったり、様々な人に感謝したりするとともに、比奈知小学校での楽しい思い出づくりをすること、五年生は、企画・運営を行うことで、最高学年になる自覚と協力などの実践的な態度や連帯感を養うことがそれぞれのねらいです。

プログラム

～第1部～

- (1) はじめの言葉
- (2) 1年生の発表「いちねんぶんのありがとう」
- (3) 2年生の発表「6年生ありがとう!学校クイズ!」
- (4) 休けい

～第2部～

- (5) 3年生の発表「6年生へエール!」
- (6) 4年生の発表「6年生のなぞを追って～あこがれの6年生へ 感謝の気持ちを込めて～」
- (7) 5年生の発表「6年生が教えてくれたこと」
- (8) 休けい

～第3部～

- (9) 6年生の発表「安心できる仲間になるために～今、みんなに伝えたいこと～」
- (10) メモリアルタイム
- (11) プレゼントタイム
- (12) 校長先生のお話
- (13) 終わりの言葉
- (14) 6年生退場

本日までの準備にあたり、五年生が中心になり、「六年生を送る会」を企画・運営することで最高学年になる自覚と責任を感じ取ってくれることを期待しています。全校児童で創り上げる「六年生を送る会」の時間は、学校全体があたたかい雰囲気にも包まれることと思います。

「最高の思い出に残る会に

～あこがれの6年生へ

感謝の気持ちを伝えよう～

通学班や委員会、クラブ活動など

で、中心になって動いてくれていた姿

や、1年生の掃除や給食の配膳を

手伝うなど、たくさんの場面で6年生

はみんなを支えてくれました。そんな

6年生に向けて、1年生から5年生が

力を合わせて感謝の気持ちを伝えら

れる会にしたいと思っています。

また、今年の送る会では、昨年とは

違って、1年生から6年生全員が

体育館に集まることができるので、6

年生にとって最高の思い出に残る会

にしたいという気持ちも込められてい

ます。

みんなで力を合わせてすてきな

6年生を送る会にしましょう。

(5年生実行委員会より)

～ 六年生の保護者の皆様へ ～

小学校入学してから早や六か年が過ぎようとしています。入学した当時の子どもたちの様子を振り返ってみると、期待と不安が入り混じった気持ちではなかったでしょうか?そんなお子様がもうすぐ卒業するという喜びもひとしおのこととおもいます。ぜひ、参観していただき、お子様の成長を見ていただきたいと思います。